

只見龍蛇走」の句を、また「②失意不安貌」と説明し、先の司馬相如の「長門賦」の「登蘭臺而遙望兮、神怳怳而外淫」の句を引く。

150 ○涕 ……涙。鼻水。涙を流す音。

ともに「鼻汁」の意味を表すが、本来「涕」はなみだ、「泗」は「鼻汁」を意味した。しかし六朝以降、「涙」が「なみだ」の意味を持つようになり、「涕」に取って代わり、それに連動して「涕」が「泗」に取って代わり、「鼻汁」の意味を持つようになった。（『漢辭海』）

○漣々…とめどなく涙が流れるさま。

『詩經』「衛風、氓」に「不見復關、泣涕漣々」。「釋文」漣、音連、泣貌」の句が、また『漢書』「韋賢傳」に「漣漣孔懷」の文が、また劉向の『九嘆』に「思念郢路兮還顧睠睠 涕淚交集兮泣下漣漣」。「注」漣漣、流貌也」の例が見える。

○連々（大島文庫及び刊本全本）…連なり絶えないさま、延々と続くさま、連なるさま。

『漢語大詞典』では「①接連不斷」と説明し、『莊子』「駢拇」の「則仁義又奚連連如膠漆纏索、而遊乎道德之間為哉、成玄英疏、連連猶接連也」の例、および陳琳の「飲馬長城窟行」の「長城何連連」、連連三千里」の例を引く。また「②猶連連」と説明し、『全唐詩』卷八六二載「醉吟」の「一日形羸又髮白、舊遊空使淚連連」の例を引く。

152 ○故園…ふるさと

古い庭。転じてふるさと。故山。故郷。

柳宗元の「酬婁秀才詩」に「客有故園思、瀟湘生夜愁」の句が、また杜甫の「復愁詩」に「萬國尚戎